

エコチル調査の進捗状況

2017年3月24日

国立研究開発法人国立環境研究所

エコチル調査コアセンター

調査対象者のフォローアップ状況

【全体調査】

• 母親

- 同意件数 - 103,099件
- 同意人数 - 97,612人 (1回参加92,175人、2回参加5,387人、3回参加50人)
- 同意率 - 約79%

• 父親

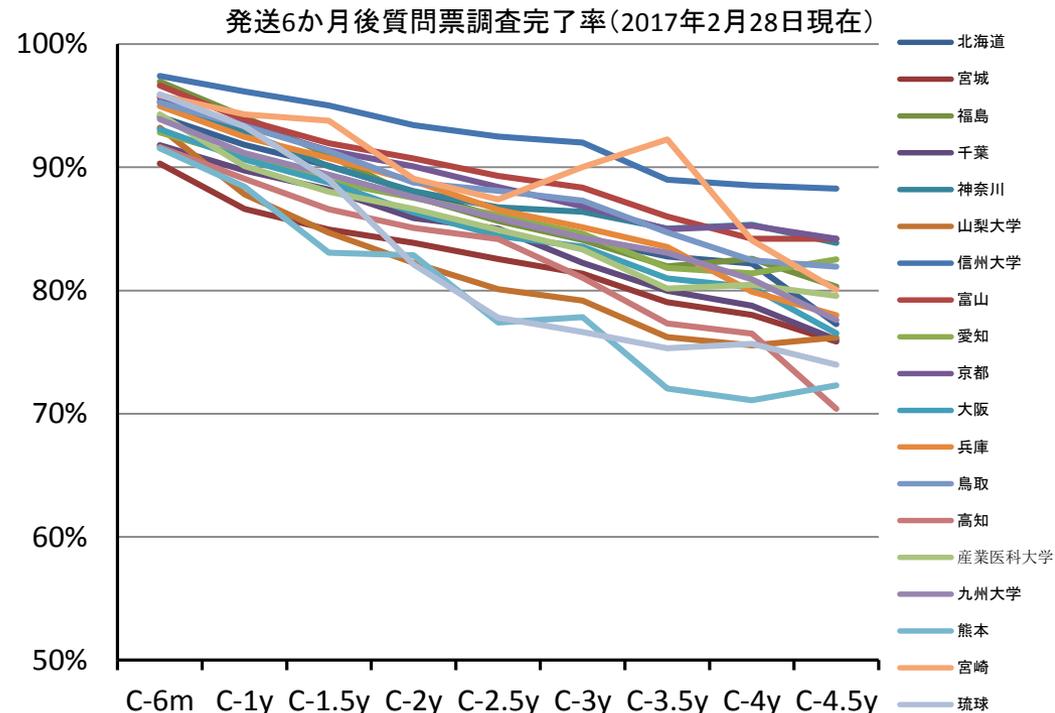
- 同意件数 - 51,910件
- 同意者数 - 49,708人 (1回参加47,518人、2回参加2,177人、3回参加13人)
- 同意率 - 約95% (母親同意者に対する割合約50%)

• 子ども

- 出生数 - 100,013人 (暫定値)
- 参加者数 (2月末現在)
- 97,268人
- 年齢は2歳半～6歳

【詳細調査】

- 調査同意者 - 5,017人
(5,006世帯)
- 応諾率 - 約50%



全体調査 進捗状況

[半年ごとの質問票調査]

- 生後6か月以降の質問票調査を、子どもの成長に合わせて順次実施中。
 - 出生後6カ月質問票調査は約10万名に実施(発送は終了)
 - 出生後1歳質問票調査は約9万9千名に実施(発送は終了)
 - 出生後1歳半質問票調査は約9万9千名に実施(発送は終了)
 - 出生後2歳質問票調査は約9万9千名に実施(発送は終了)
 - 出生後2歳半質問票調査は約9万6千名に実施
 - 出生後3歳質問票調査は約8万に実施
 - 出生後3歳半質問票調査は約6万2千名に実施
 - 出生後4歳質問票調査は約4万4千名に実施
 - 出生後4歳半質問票調査は約2万9千名に実施
 - 出生後5歳質問票調査は約1万5千名に実施
 - 出生後5歳半質問票調査は約3千名に実施

(平成29年2月28日現在)

詳細調査 進捗状況

➤ 対象者

平成25年4月以降に出生した全体調査の参加者のうち、全国で5000人。
平成26年10月より詳細調査リクルートを開始。平均で5割の応諾を得た。

➤ 調査内容

- 1.5歳時訪問調査(環境測定):平成26年秋より実施して、完了済み。
 - 3歳時訪問調査(環境測定):平成28年春より開始し、実施中。
 - 2歳時医学的検査及び精神神経発達検査:平成27年春から開始して、完了済み。
 - 4歳時医学的検査及び精神神経発達検査:平成29年春からの開始に向けて、準備中。
- 測定結果の返却:各検査に応じた返却内容等を予め検討の上、参加者に結果報告書を返却。各ユニットセンターの医学的相談責任者を中心に、参加者からの問合せ等に対応。

生体試料の化学分析の実施

- 少量かつ多数の試料の効率的な分析法の検討・開発に取り組み、生体試料等の化学分析を厳密な精度管理の下、本格的に実施中。
 - 妊娠中後期の母親血液中の金属類(カドミウム、鉛、水銀、セレン、マンガン)： 4万検体を測定中
(参考)H26年度：2万検体、 H27年度：4万検体
 - 妊娠中後期の母親尿中のコチニン等：
4万検体を測定中
(参考)H26年度：1万2千検体、 H27年度：2万3千検体
H29年度：2万2千検体(予定)
 - 残留性有機化学物質(POPs)の分析
引き続き、血液、臍帯血、母乳試料、ハウスダストを対象として、分析項目の選定・絞込みを実施中

出産時全固定データの関係研究者への送付

- 出産時全固定データのデータクリーニングを完了し、平成28年6月からデータ利用の承認を受けたエコチル調査関係者において使用を開始。
- 引き続き、1歳までに収集したデータについて必要なデータクリーニングを作業を進めている。
- 平成26年度に実施した母親血液中金属類の分析データ(2万件)について、精度管理作業を完了し、解析可能なデータとして整備して、平成29年1月からデータ利用の承認を受けたエコチル調査関係者において使用を開始。

その他の進捗状況

- 学童期における調査内容・手法等について詳細な検討を実施
- 個人情報保護法の改正に伴う「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の改訂内容を踏まえて、研究計画書等の各種文書において、改訂が必要となる箇所の洗い出し作業を実施中